

C U R R E N C Y M U S E U M

江戸と日本橋



日本橋と河岸周辺の商業・金融の町
「東都名所 八ツ見之橋真景」初代歌川広重



日本橋川に架かる一石橋
「江戸名所四十八景 一石はし夕景」
二代歌川広重



水辺の風景と 日本銀行

日本橋川と中央銀行誕生までのあゆみ

水辺の再生への機運の高まりや都市の水運の機能が見直されつつある現在、貨幣博物館の隣を流れる日本橋川周辺では新しい街づくりが始まろうとしています。

江戸時代、全国各地と江戸を結ぶ舟運ネットワークにより江戸に物資が運ばれました。江戸には水路が張り巡らされ、その1つ現・日本橋川の河岸には蔵が建ち並び、日本橋のそばには魚市場ができ、江戸の食を支えました。

物流や商業の中心となっていた日本橋川エリアの重要性は、明治時代に入っても変わりませんでした。日本銀行の創設前、日本橋川周辺には三井組、第一国立銀行、紙幣寮などの金融に関わる大建物が次々と建てられ、それらの建物を含む水辺の風景を描いた錦絵が多く描かれました。

そして1882年日本銀行開業の地（日本橋箱崎町）、そして現在の日本銀行本店本館（1896年竣工）の地（日本橋本石町）いずれも、日本橋川の水辺の立地です。

日本銀行創設140周年にあたる2022年、明治初期に試行錯誤の中で、貨幣・金融制度が整備されていき、1882年に中央銀行・日本銀行が誕生するまでの歩みを、江戸後期から明治初期の日本橋川沿いを描いた錦絵と共に紹介します。

日本橋川沿いに辿る にちぎん誕生までの歩み



日本橋川を行き交う舟
「東京名勝尽 江戸橋駅通覧之図」三代歌川広重



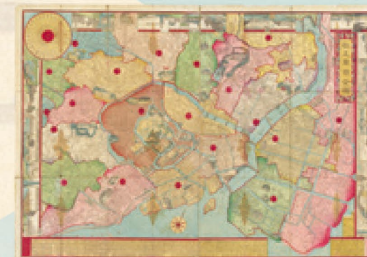
5円金貨



紙幣に描かれた日本橋
国立銀行紙幣 旧紙幣 5円



日本橋越しに見える兜町 第一国立銀行
1873年開業
「東京日本橋ハウスの遠景」永島孟斎



多くの水路が巡る東京
「改正東京全図」



三井組ハウス 兜町 1872年竣工
「海運橋三井組会社図」昇斎一景

常磐橋そばの日本銀行本店へ



日本銀行本店と日本橋川
「Nippon Ginko, Tokyo」着色絵はがきより



日本橋川で運んだ資材で造られた日本銀行本店
1896年竣工
「東京名所 日本銀行之図」

中央に日本銀行初代本店 1882年開業
（橋の袂の赤と白の建物）
「東京真画名所図解 永代遠景」井上安治

※錦絵等は期間中展示替があります。